

令和5年度 第3回 竜禅寺小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月17日（金） 15時00分から17時10分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 松本 直己、柳川 春彦、鈴木 宏幸
高須 道男、倉重 建朗、新井 和美、北井 実香
- 4 欠席委員 寺田 成一、加藤 京子
- 5 学校 水野 敦司（校長）、佐々木和也（教頭）、松井 康子（教務主任）
富田みゆき（CS担当教員）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 議長の選出

北井委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 高学年・たつのご学級の活動紹介
- (2) 1学期末の学校評価と改善策
- (3) 教育活動の充実に向けて

11 会議記録

委員総数9名のうち7名の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している確認をした。

(1) 高学年の実践内容の紹介

① 4年生

課題「自分たちで考え、計画を立てて実行していきたい」について委員からは以下の発言があった。

- ・二分の一成人式について5年生に尋ねてはどうか。（松本委員）
- ・この学校の子は、挨拶ができるのか。できていないのであれば、大人の方から積極的に声を掛けて取り組んでいくとよい。挨拶ができれば褒めるを繰り返し、子供たちに習慣化されるとよい。社会に出ても一番必要。（高須委員）
- ・今日も積極的に挨拶してくれた児童がいた。挨拶ができるようになってきている。（松本委員）
- ・挨拶ができる学校は手入れが行き届いている。（高須委員）

② 5年生

課題「下級生へ伝える 自分に生かす 自ら情報を求める」

仲間の考えと自分のものを比べてみることについて委員からは以下

の発言があった。

- ・ 積極的でない児童をどのように巻き込んでいくのか。(高須委員)
- 2学期に入り1学期には見られなかった児童が副リーダー、チームリーダーとして活動している。担任の聞き方で“やる気”児童の“捉え方”を高めたり変えたりできる。様々な役割に分けて、個々が活躍できるようにしている。(榊原教諭)
- ・ 消極的な子に適材適所で自信を持たせ、自己肯定感を上げていくことが必要。(高須委員)
- ・ 消極的な子にどのように支援をしていけばよいか。子供たちそれぞれの役割がある。学校のやり方を協議会で聞くと、こちらも勉強になる。(新井委員)
- ・ 変わってきた5年生の姿を感じる。これからも楽しみにしている。(高須委員)

③ 6年生

課題「挨拶がしっかりとできるように、中学に向けてイメージを広げる」について委員からは以下の発言があった。

- ・ 町民運動会は3町の対抗意識があった。子供たちの競争意識はどうなっているのか。運動会でも順位はつけていないようだが。(松本委員)
- 個人内でのタイムの向上を取り上げている。(近藤教諭)
- ・ 勝負にこだわる意識があると、その後に役に立つのではないかと。下をばかにする、いじめにつながるから減らしているのか。いろいろなチャンピオンができるのもいい。(高須委員)
- これだけは誰にも負けないという自己肯定感を持たせることを大切にしていきたい。(校長)
- ・ 4年生が行っている挨拶運動も、それぞれの学年に合ったことができることがある。6年生は6年生の発達段階にあったできることを考えていけばいいのではないかと思う。(鈴木委員)
- 学年に応じた挨拶、対応をさせていく。(校長)

④ たつこの

課題「自分の成長に気付き、自分の良さを認められない」←できることに目を向ける、ありのままの自分を受け入れる。について委員からは以下の発言があった。

- ・ 全くいられない子はいらぬのか。来られなくなった子にはどうしているのか。(高須委員)
- 保護者の方が一緒に登校したり、学校生活を送ったりしている。担任と連携をとり、どのようにしていくか相談している。(校長)
- ・ 成功体験を積み上げることが大切。(高須委員)

(2) 1学期末の学校評価と改善策

議長の指示により松井教務主任から1学期の学校評価と改善策について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・懇談会についてPTA役員の負担が大きく、中止したが必要な面もある。懇談会の実施について意見はどうか。(北井委員)
- ・PTAの役員をやっていたとき、参加者が少ないということがあった。それでは実施の意味が無い。教師とPTAとでよい方法を話し合っ決めてはどうか。(新井委員)
- ・教員主体でやっている方が出やすい。(北井委員)
- 学校側で必要な場面や説明が必要なきには実施していきたい。(校長)
- ・目的があれば保護者も来るが、当てはまっていない学年の出席率は低いので必要無いのでは。共働き家庭も多く出席できない家庭もある。変えていかないといけない部分もある。(新井委員)
- ・学年懇談会にする、テーマを決めるなど、様々な方法がある。(松本委員)
- ・保護者と児童の達成度が近付いているのは、どういう表れと考えるのか。(鈴木委員)
- コロナ禍が過ぎ学校の様子を保護者が分かってきている。(校長)
- 児童が評価を厳しくすることもある。(松井教諭)
- ・保護者の8割が好意的に評価しているのは、素晴らしいことだと思う。(柳川委員)

(3) 教育活動の充実に向けて

議長により意見を求めると、委員からは以下の発言があった。

- ・各学年の紹介にあった内容を、是非継続して取り組んでほしい。(高須委員)
- ・これからの社会に必要な資質作りにも取り組んでほしい。(新井委員)
- 今後も学校行事や授業において、目標とする指標に向け取り組んでいく。(校長)
- ・Lタイムがなくなったことについて子供たちはどうか。(松本委員)
- 感想は聞いてないが。放課後が早く帰れるのでよいのでは。学校に遊びに来る子供たちもたくさんいる。学年を越えて一緒に遊んでいる姿もある。(校長)

その他報告事項等

- ① 落ち葉集め
- ② 読み聞かせボランティア

司会から、次回会議は、令和6年2月20日(火)15時から会議室で開催する旨の報告があった。